

平成30年1月19日  
県民交流課広報広聴室  
内線 3812  
外線 225-1362

## 平成30年石川県広報コンクールの審査結果について

県では県内市町の広報活動向上を目的に「石川県広報コンクール」を開催しており、この度、応募作品の審査を行った結果、下記のとおり入賞作品を決定しましたのでお知らせします。

### 1 審査結果

部 門		最優秀賞	優秀賞
広報紙	市の部	広報こまつ 8月号	広報かが 10月号
	町の部	広報のと 12月号	—
広報写真	一枚写真部	広報ななお「七尾ごころ」6月号(表紙)	広報かが 9月号(表紙)
	組み写真部	広報のと 8月号(P2~3)	広報ななお「七尾ごころ」6月号(P2~3) 広報あなみず 11月号(P4~5)
映 像		「東京2023加賀【加賀市新幹線対策室】Season1~Full Ver~」 (加賀市)	「必撮仕事人・町立宝達志水病院 院長 西澤誠さん」(宝達志水町)

### 2 応募作品数

部 門		H30年応募	参考(H29年応募)
広報紙	市の部	8作品	6作品
	町の部	3作品	3作品
広報写真	一枚写真部	13作品	15作品
	組み写真部	8作品	8作品
映 像		3作品	3作品

### 3 審査会の概要

- (1) 日 時 平成30年1月18日(木) 於：石川県庁
- (2) 審査員
- ・出版プランナー おくひら 奥平 三之
  - ・コピーライター みやほ 宮保 真
  - ・アートディレクター やなぎやち 柳谷内 正志
  - ・県広報広聴室長 永下 和博

- 4 その他
- ・各部門の最優秀賞作品は、(公社)日本広報協会が主催する全国広報コンクールに推薦する。

## 参 考 <審査員の講評(最優秀作品)>

### 1 広報紙部門

#### ① 市の部「広報こまつ 8月号」

- ・歴史から今現在の姿、そして近未来まで、学びと現実が良く展開されている。この機会を良く捉えている。資料写真も豊富に集められて、読者には魅力的。
- ・特集は、表紙を含めて流れができています。市民主催イベントの紹介は、広報誌に対する市民との距離を近づけると思うので、よい取り組みだと思う。
- ・小松駅を軸に過去・現在・未来と展開し、そこに写真やコメントが付帯する構成がしっかりとまとまっている。

#### ② 町の部「広報のと 12月号」

- ・全体デザインに統一感があり、写真の高品質と相まって心地よい。「移動販売」は好企画であり、文章、写真ともに完結している。
- ・町が目指している方向性が明確で、表紙の写真もキレイ。
- ・事例だけでなく支援制度の紹介までつなげるのもいい構成。文章も上手で読みやすい

### 2 広報写真部門

#### ① 一枚写真部「広報ななお「七尾ごころ」6月号(表紙)」

- ・後ろ姿で展開するという冒険が生きている。幼児に伝統を伝えようとする意図が伝わる。全体がきれいな仕上げとなっている。
- ・構図、色合いともによく、子どもが肩車されている姿に強いメッセージ性が感じられる
- ・「曳山の大きさ」と「世代を越えて地域に愛される祭」、伝えたいことが端的に表現されている。

#### ② 組み写真部「広報のと 8月号(2~3ページ)」

- ・好素材にまけない写真の質とデザイン展開で、物語性に溢れた紙面作りができています。編集者が祭りを自分のものにしてチャンスに挑み、生かしているのが見える。
- ・とても表現豊かであり、組んだ仕上げもよくなっている。
- ・一枚一枚の画が強いしメリハリもある。
- ・主役・脇役が明確で、それぞれに相応しい写真を選ばれている。

### 3 映像部門

#### 「東京 2023 加賀【加賀市新幹線対策室】Season1~Full Ver~」(加賀市)

- ・市民に現時点での課題を伝える広報映像として、こんな方法もあると思いついたのは見事。解決策を発見しようという姿勢が、自虐的ユーモアを通して伝わってくる。
- ・企画も映像も優れており、市内外の誰でも引きつけられる魅力を作れている。

※ 受賞作品については、広報広聴室にて閲覧することができます。